

就任のご挨拶



横河電機健康保険組合

理事長 **小澤 正和**

横河電機健康保険組合の事業主各位、ならびに被保険者とそのご家族の皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび高橋前理事長の後任として、当健康保険組合の理事長に就任いたしました。

横河電機健康保険組合は1936年(昭和11年)に設立され本年11月には68周年を迎えるまでに至りました。その間、歴代理事長のご尽力と皆さまのご理解、ご協力のもと、長引く景気低迷の中でも保健事業を後退させることなく、円滑な事業運営を進めてきております。

しかし、健康保険組合を取り巻く外部環境は益々厳しくなっており、全国に約1,600ある健康保険組合の平成16年度予算を見ますと総報酬制導入によって改善されているとはいえ、5割以上の組合が赤字予算となり、経常収支では276億円の赤字となっております。どの組合も低迷する経済状況に加え、急速な高齢化に伴う老人保健拠出金等の拠出金(保険料収入の38%を占める)の負担によって健保財政が圧迫され、苦しい健保運営を余儀なくされております。先頃、厚生労働省が公表した2003年の特殊出生率は過去最低の1.29でした。それに反し同年の65歳以上の高齢者人口の割合は19.0%で、2015年には26.0%に達すると予測されています。老人医療制度の改革は、急を要す国を挙げての大きな課題となっております。

一方、当健康保険組合の平成16年度予算を見ますと健保事業の見直し、効率化等によって予算総額は103億6,000万円で前年度比4.6%減少しておりますが、今年度も、厚生労働省の提唱する「健康日本21」運動の「二次予防から一次予防へ」の観点に立ち、健康増進の事業を推進していきます。しかし、一方では保険料収入に占める拠出金の割合は全国平均を約10%上回る47%に達し、健保財政を圧迫する大きな要因となり、依然として厳しい状況が続いております。

このような時期に理事長に就任し、その責務の重大さを強く感じておりますが、この度新たに選出された議員の皆様と手を携え、各事業所とも十分コミュニケーションをとりながら、微力ではございますが、健康保険組合の健全で安定的な事業運営とさらなる発展のため、全力を注ぐ所存でおりますので、皆さまの暖かいご支援とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

横河電機健康保険組合組合会新議員のご紹介 (任期:平成16年7月1日~平成18年6月30日)

役職名	氏名	事業所	役職名	氏名	事業所
理事長	小澤 正和	横河電機株式会社	選定議員	宮村 秀男	横河電機株式会社
常務理事	水間 英夫	横河電機健康保険組合	同	加藤 享夫	横河電機株式会社
選定理事	石河 正弘	横河電機株式会社	同	堀上 潔	ジーイー横河メディカルシステム株式会社
同	一守 靖	日本ヒューレット・パカード株式会社	同	露木 静一	横河電子機器株式会社
同	杉野 裕幸	横河電機健康保険組合	同	鈴木 隆男	横河エレクトロニクス・マニファクチャリング株式会社
			同	越智 律和	横河ヒューマン・クリエイティブ株式会社
			同	平田 知男	日本ヒューレット・パカード株式会社
			監事	瀬津 慶治	株式会社ワイ・ディ・シ